

日本と世界を 文化でつなぐ架け橋として

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）とは

世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する組織として、1972年10月に外務省所管の特殊法人として設立され、2003年10月に独立行政法人となりました。本部、京都支部、ふたつの付属機関（日本語国際センター、関西国際センター）、さらに海外21カ国に設置する22の海外拠点をベースに、国内外の諸団体と連携しつつ、文化芸術交流、海外における日本語教育、日本研究・知的交流の3つを主要分野として活動しています。政府出資金（780億円）を財政的基盤とし、この出資金の運用益、政府からの運営費交付金および民間からの寄付金などにより運営しています。役員員数は230名（2013年10月1日現在）です。

1997

- パリ日本文化会館開設 ●関西国際センター開設

1991

- 日米センター開設 ●安倍フェロシップ開始

1989

- 日本語国際センター開設

1973

- 国際交流基金賞創設
●国際交流基金
フェロシップ開始

1984

- 日本語能力試験開始

1990

- アセアン文化センター開設
(1995年アジアセンターに改組／～2004年)

2003

- 独立行政法人
国際交流基金発足

1972

特殊法人国際交流基金発足

2006

- 日中交流センター開設

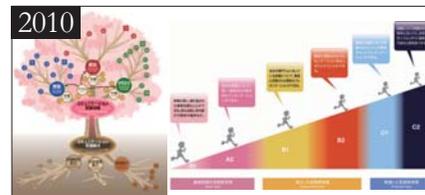
2012

設立40周年

2010

- JF日本語教育スタンダード発表

1973. オックスフォード大学に初めて集い、欧州日本研究協会(EAJS)を設立した欧州全域の日本研究者
1981. 大型催事「ジャパン・イン・ロンドン」の中心企画「江戸大美術」展
1997. アジア6カ国の演劇界第一線の演者らが共同で2年をかけて制作した多言語演劇「リア」公演
2010. 日本語の教え方、学び方、学習成果の評価ツール「JF日本語教育スタンダード」発表



国際交流基金の設立は2002年（平成14年）に定められた以下の法律に則ったものです。独立行政法人国際交流基金法 第3条「独立行政法人国際交流基金は、国際文化交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、及び文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持及び発展に寄与することを目的とする」

国際交流基金の活動の3本の柱

文化芸術交流

豊かで多様な日本の文化や芸術をさまざまな形で世界各地に向けて発信します。文化芸術をととして日本のこころを世界の人々に伝え、言葉を超えた共感の場をつくり出して、また、ともに創造する喜びをわかちあって、人と人との交流を深めていきます。

海外における日本語教育

日本に関心を持つ人々が日本語を学び始め、そして学習を継続できるよう、また、日本語がより学びやすく、より教えやすくなるよう、日本語教育のための基盤や環境の整備を行います。各国・地域の政府や教育拠点などと連携して、それぞれの教育環境、言語政策や、学習者の目的・関心に対応した事業を行います。

日本研究・知的交流

海外での日本研究を支援し、その振興をはかることで、世界の各国で、人々に、日本がより深く理解されることを目指します。また、国際的な重要課題、共通の関心事項について、日本と海外の人々の間で対話する機会を作ることで、日本の対外発信を強化し、将来の対話や交流事業の中心的な役割を担う人材を育てるための事業を推進します。